

やさしさで
老後を包む
地域ケアー



支部たより ひがし

第 134 号

発行日 平成 26 年 12 月 25 日
発行 笠間市社協東支部
編集 広報委員会
印刷 有限会社 テクノプラン



南友部



柿橋



五平



宮前・鴻巣

秋の深まりと共に社協東支部の各地で敬老会が一斉に開催されました。
南友部…十月十八日(土)
宮前・鴻巣…十月十八日(土)
柿橋…十月五日(日)
五平…十一月二日(日)

敬老会の対象者は東支部全体で七八三人で、出席者は二六一人と約三三%の出席率でした。
各地区ではお祝いの昼食とともに、長寿者の表彰が行われ、津軽三味線、ギター、ハーモニカ演奏、太鼓連、ビンゴゲームなどの催し物を楽しみました。



わが町の自主防災は(第3回) 富士町防災意識高まる!

富士町自主防災会 富士町区長 貞広 清

富士町区は、平成二十四年度に「富士町区自主防災会」を立ち上げ、市から助成を受けて防災に必要な資機材を整備しました。防災活動としては、炊き出しや赤十字社の指導のもとで心肺蘇生とAEDの訓練を行いました。
二十五年度の活動は、消火器とバケツリレーによる初期消火訓練、炊き出し、区民の防災に対する知識・対策・意識を調査し、今後の防災に役立てることを目的としたアンケート調査を実施しました。

今年度の防災活動は、防災知識の普及啓蒙を図る防災講演会と防災訓練を計画しました。防災講演会は、「茨城県消防設備協会」から講師を招き特に地震から身を守る方法等貴重な話をしていただきました。次に防災訓練ですが、消防署の指導を受けて、(一)水消火器による防火訓練、(二)心肺蘇生訓練、(三)毛布を活用した搬送訓練、(四)区独自に発動発電機(照明はもとより携帯電話の充電にも利用可)の操作訓練を予定しています。前記防災アンケートでも「頭の中ではわかっていてもいざという時どうしていいかわかりませんので何度も防災訓練をしていただきたい。」との御意見がありました。今後とも様々な訓練を積み重ねて、自分の身は自分で守り、近所の人々が互いに協力し合うことで絆が一層高まるように防災活動を続けて行く必要があると思います。



心肺蘇生とAEDの訓練風景



上位入賞者



大会風景

東支部グラウンドゴルフ大会が柿橋グラウンドで十一月十三日に開催され、雨で一日順延されたのにも関わらず、九十三人が青空の下、熱戦を繰り広げました。上位入賞者は左記の通りです。
優勝…工藤幸一(きらくの会)
準優勝…小澤睦夫(香友会)
三位…遠藤健次
(西飯田長寿会)

グラウンドゴルフ
大会開催

鴻巣隧道付近の見回り開始 「このす安全パトロール隊」の発足

鴻巣二区防犯連絡員 友部 清



私は、平成二十四年度より鴻巣二区防犯委員を拝し、連絡員の皆さんと共に地域の防犯活動を行なっています。

昨年十月以降、鴻巣隧道付近に不審者が出没しているという情報が多く寄せられて、「こうしてはいられない」と

思い、小学生下校時の隧道及びその周辺のパトロールを始めました。当初は二名で始めたパトロールでしたが継続してゆくには二人では限界がありました。

そこで地域の人々に協力依頼をしました。当初は主旨には賛同してはいただけませんでしたが、

のなかなか人数が集まりませんでした。

二十五年三月頃より少しずつ協力者が集まり、三月二十日、市民活動課長、県警駅前交番長を迎えて「このす安全パトロール隊」の発足式を行いました。

四月の新学期よりは一日二名体制で月曜より金曜まで、小学校下校時の毎日の安全パトロールの実施を行っています。

とはいえ、まだ不慣れ未熟な点も多々あります。

地域内外の皆様のアドバイスをいただきながら更に安

全、安心の地域作りの一翼を担ってゆきたいと思えます。最後に各区長さんをはじめ地域の皆さまの多大なご尽力、御協力に深く感謝いたします。



パトロール風景

あなたは「水戸八景」を知っていますか ―友部公民館出前講座―

飯田三区 鈴木 義雄

「水戸八景」をご存知の方は、どの位いらっしゃるのでしょうか。仮に、その始まりはあの徳川斉昭にあり、藩内子弟の文武にわたる鍛練が目的であった：ことなどを知っていたとしても、当時を二百年近く隔たった現在、八か所の景勝地すべてに精通したスベシヤリストが一体何人おられるものでしょうか。

九月二十六日、友部公民館との共催で開かれた歴史出前講座「水戸八景めぐり」は、その八か所を、バスを利用し一気に回ってみようという

ものでした。参加三十余名。現代のバス道と、往時の行程では比較はできませんが、水戸の城下を出発してから距離は約九十キロ。昔の若者たちはこれを、一日で踏破したといえますから驚きです。

ここで、当日講師として随行された南秀利先生の説明をもとに、順路などを紹介したいのですが、紙面の都合で割愛いたします。

湖畔の「広浦秋月」は、さざ波の沖に筑波山が霞み立ち、当時を彷彿とさせて参加者の胸を撫でおろすようでした。



湖沼湖畔の「広浦秋月」

常磐線生まれ125年(その2)

友部駅誕生秘話

柿橋北区 市川 惣三郎



昭和30年頃の友部駅

古代社会には、かなりの豪族が居住していた小原地区は、

多くの古墳がある。山王塚古墳は前方後円墳だったほぼ中央を横切って鉄道が通る。

当時の水戸線は、水戸、内原、大田町(六戸)、笠間、岩瀬、下館、結城、小山の八駅だった。東北線に乗り入れ古河、大宮、上野まで一日二往復運行し片道五時間半だった。

常磐線は二案があり、水戸街道に沿って計画したが茨城町の猛反対で中止となり、次に水戸線の穴戸駅を通る案も地元民の反対で変更となる。

各地で鉄道開設は反対が多く当地も例外ではなかった。鉄道の利便性と効果に就いて全く無知であったと云われても過言ではない。やむなく国有地だった南友部の原野で「友部ッ原」と云われ、狸や狐の巣であった、農家の草刈場だった大字名の地に駅が新設されたのが、友部駅だった。(明治二十八年七月一日)

安価に土地が入手出来るとの条件で、次第に居住者が増加した。その後六百本もの桜を駅構内に植樹して、花見の名所であったことは、あまりにも有名だった。かつての中心街だった穴戸町は、完全に追い越され現在に至る。

調味料計量は正確に！ 南友部 白土 朋子 女性部料理講習会開催

九月三日に高齢者の食事学(配食弁当)の作り方の研修会に出席しました。講師として管理栄養士の小澤美智子先生をお招きして、配食弁当作りの注意点、特に食中毒を未然に防ぐ方法や高齢者が食べやすい食材の切り方や盛り付け方など具体的に説明、指導していただきました。



調理講習風景

十分気をつけて始めました。私はいつも目分量でやっていましたが、きちんと計ってやることは、沢山作る場合でも味もちゃんと決まり失敗なく出来るということで、大変勉強になりました。

実習のメニューは卵のホイ乳焼き、プルコギ、蒟蒻の小

暖かな陽ざしがうれしい季節となってきましたが、今年も残すところあとわずか。この一年何をしてきたのかなと振り返る今日この頃です。支部の活動もいろいろありましたが、その都度広報の原稿依頼に応じて下さった方々ありがとうございました。これからもご協力の程よろしくお願ひします。(渡辺)

編集あとがき